

維新ノーの一点共同で

新しい流れが――

「自立自助（自分のことは自分でやれ）の徹底」「『民』で出来ることは全て民間で。公立幼稚園は全廃」「大型開発は一人で決められるように」――極端な「維新の会」に立場の違いを超え、維新政治ノーの共同が広がっています。各界の声を紹介します。



堺市長の 竹山修身さんも

昨年9月の堺市長選、岸和田市長選挙の流れがある。これに水をさす動きを泉南で起こしてはならない。前副市長と一緒に共同の流れを加速させたい。(11日)

自民党参院議員の 柳本卓治さんも

みんな前副市長を応援している。自民党も、公明党も、民主党も。共産党も勝手連で。一体となってがんばっていこうという気運が盛り上がっている。(11日)

大阪市立大学名誉教授の 半田秀男さんも

(泉南市大苗代在住)

維新の会による大阪市立大学と府立大学を統合する暴挙を力をあわせて食い止めています。泉南でも共同の力で維新の横暴な政治にストップをかけましょう。

前樽井区長の 竹野利宏さんも

街の人たちの暮らしを守る大切さを区長として、身近に体験しました。一方、維新の会の大阪市は、赤バス＝福祉バスを廃止するなど、市民サービス切り捨てを行っています。こんな政治はごめんです。

共産党府副委員長の 清水ただしさんも

くらしと民主主義を根こそぎ壊す維新政治に、“自民や、公明や、民主、共産党や”なんて言われてられないと、共同が広がっています。泉南市でも力をあわせて維新ノーの審判を下し、自治体らしい自治体をつくりましょう。(11日)

自民、公明、民主とともに 共産党の自主的支援は 心強く思います

泉南市長
向井 通彦



共産党は私どもとは立場は違います。しかし、清潔で公正な市政作りでは協力してきました。新しい市政にむけて、自民党、公明党、民主党とともに、共産党が自主的に応援してくれることは、心強く思います。共同を非難する向きもありますが、共同の力が市政を変えます。(談)



維新丸抱えの人は**ゴメン**です

保守系前市議の集まりでは維新の会の国会議員（代理）や府会議員が次々登場。「必勝を」と発言、メッセージを送っています。

保守系前市議は橋下大阪市長の「慰安婦制度は必要だった」発言の撤回を求める決議案に反対しました。(2013年第2回定例会)

保守系前市議は、橋下知事（当時）の救命救急医療への補助金削減に反対し、三次救急医療に責任を持つことなどを求める意見書に反対しました。(2011年第3回定例会)